

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

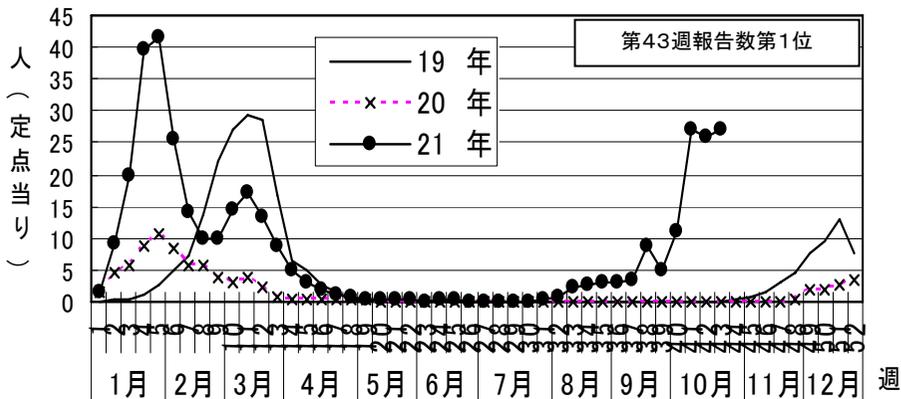
平成21年10月19日（月）～10月25日（日）〔平成21年第43週〕の感染症発生状況

第43週で報告数の多かった疾病は、1) インフルエンザ 2) 感染性胃腸炎 3) 水痘となっています。

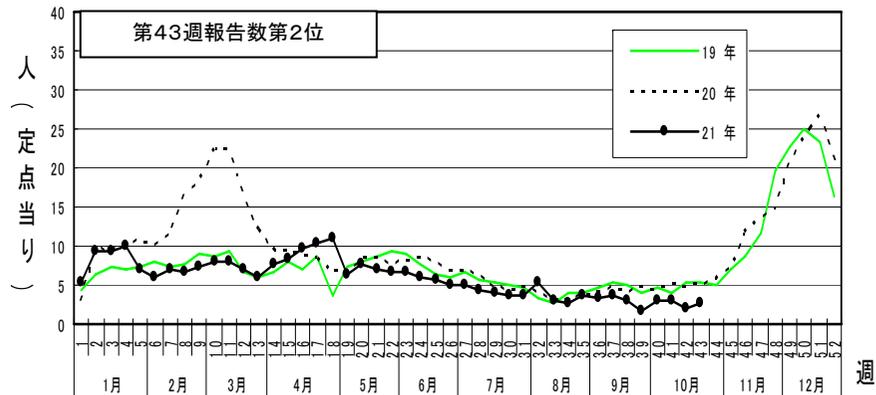
インフルエンザは、定点あたり27.15と前週に比べて報告数が増加し、今年度の最高値を更新しました。増加率としては小さい値となっておりますが、前週に引き続きインフルエンザの流行発生警報基準値である定点あたり30に近づいていますので、今後の発生動向には注意が必要です。また、水痘の報告が43週で大幅に増えており、今後注意が必要です。

## 新型インフルエンザワクチン情報

インフルエンザ発生状況(3年間)



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



### ワクチン接種の目的

インフルエンザワクチンは、一般的には、重症化予防、死亡数減少を主な目的として使用されており、今回の新型インフルエンザに対する予防接種も、死亡者や重症者の発生をできる限り減らすこと及びそのために必要な医療を確保することを目的としています。

### ワクチン接種対象者

	理由
<b>優先接種対象者</b>	インフルエンザ患者から感染するリスクが高く、医療体制に支障を来すおそれがあることから、必要な医療体制を維持するために接種が必要とされています。
<b>妊婦</b>	他の者と比較し、新型インフルエンザに罹患して、重症化、死亡する割合が高いことから、重症者を減らすために接種が必要とされています。
<b>基礎疾患を有する者</b>	10歳未満の小児の罹患率が高く、重症例が多くみられていることから、重症者を減らすために接種が必要とされています。
<b>小児(1歳から小学校3年生まで)</b>	1歳未満の小児は、予防接種によって免疫をつけることが難しいのでその保護者に接種します。
<b>1歳未満児の保護者及び優先接種対象者のうち、身体上の理由(卵アレルギー等)により予防接種が受けられない者の保護者等</b>	発症者の半数が10代の若年層であり、相対的に重症者が多数発生するおそれがあることから、重症者を減らすために接種が望ましいとされています。
<b>小学校4～6年生、中学生、高校生相当</b>	現在、発症者数は少ないが、今後、患者数が増加した場合には、重症化する高齢者が多数発生する可能性があることから、重症者を減らすために接種が望ましいとされています。
<b>その他</b>	
<b>高齢者(65歳以上)</b>	

★川崎市では、平成21年10月22日から、インフルエンザ患者の診療に直接従事する医療従事者(救急隊員を含む)のワクチン接種が市内受託医療機関で始まっています。(上から順次開始します) 詳細及び最新情報を下記のホームページに掲載しますので、ご覧ください。なお、電話でのお問い合わせも受け付けております。

HP アドレス：<http://www.city.kawasaki.jp/35/35sippei/home/kansen/wakutin/index.html>  
 新型インフルエンザ相談センター 044-200-2692 (月～金 8:30～17:00 ※祝日を除く)